

第2回浦和野田線の整備に関する意見交換会

【日 時】 令和5年7月27日（水）14:00～15:30

【場 所】 荻島地区センター多目的ホール

【参加者】 北越谷一丁目自治会、北越谷二丁目自治会、北越谷二丁目東自治会、北越谷四丁目自治会、北越谷五丁目自治会、南荻島出津自治会、堤根自治会、中組自治会、さしきだ自治会、神明町二丁目自治会、北越谷小学校、文教大学、元荒川の自然を守る会、越谷市道路建設課・道路総務課・学務課、埼玉県総合治水事務所・越谷県土整備事務所（計26名）

【傍聴者】 計4名

【議 事】

- ・道路計画の3Dモデル・イメージ動画について
- ・対策素案について
- ・オープンハウス型説明会の開催予定について（周知・依頼）
- ・意見交換

※詳細内容は説明資料をご覧ください。

3Dイメージ動画については、9月1日以降にHPに公表します。

【主な意見交換の概要】（○：構成員、➤：事務局）

＜道路計画の3Dモデル・イメージ動画について＞

- 動画のスピードはこのままオープンハウス型説明会で公開するのか。
- このスピードで説明のナレーションを付けたうえでオープンハウス型説明会にて繰り返し上映するとともに、HPへの公表を予定している。
- 交差点の位置など理解するのに時間がかかるため、動画のスピードをもう少しゆっくりしたほうが良いと感じた。
- 説明会当日は、来場者から説明を求められた場合は動画を止めたりして、個別に対応いただくことは可能か。
- 説明会当日は、職員が待機しており、質問があった場合には、個別に対応させていただく。動画のスピードについては、走行速度（50km/h弱）を想定し、設定している。一度見てもイメージがつかないといった意見もわかるが、繰り返し見ていただくか、3Dモデルであらゆる箇所を360°から確認できるのでこれも併用し、細部について、ご説明させていただければと思っている。
- 今の動画・モデルは素案であり殺風景なものになっているが、例えば出津橋のデザインや遊歩道の導線などについては、今後の意見交換会で検討していくということで良いのか。また、出津橋などは市役所の所管になると思うが、県が開催する説明会の場で意見を言っても良いのか。

- この意見交換会及びオープンハウス型説明会については、浦和野田線の道路に限らず、これに関連する、元荒川に関することや出津橋に関すること、生活道路に関することなども含めて検討していくために実施しているので、これらについても様々な意見をいただければと思っている。いただいた意見を関係者で話し合いながら、対策案や詳細な構造などを検討していきたい。
- 動画は車を利用する方目線で作られていたが、北越谷地区に住んでいる我々からすると小学校の裏に大きなバイパスが出来てどうなるのだろうかとか、河川の遊歩道を散歩する方はどこを歩けばいいのだろうかとか、そういったことの方がよほど気になる。そういったこともイメージできるようにしてほしい。
- ご覧になる視点がそれぞれの方によって違うことは、よく理解した。動画でそのすべてを反映させることは困難なため、3Dモデルも併用しながら説明させていただく。

<対策素案について>

- 横断歩道橋にスロープを付けることになっているが、自転車は乗って通行できるのか。出津橋なども降りて通行するようになっているが、実際、乗ったまま通行してしまっている人が多い。
- スロープについては、歩道のため、降りて通行するものになる。スロープの降り口に車止めを設置し、物理的に抑制している例もある。
- スロープについては、歩行者や自転車、車いすなどが安全にすれ違えるよう、幅をできるだけ広くしてほしい。また、それぞれの通行空間を分けるなど安全対策を十分に図られたい。
- スロープ幅については、河川側で河川管理上の制約があり、住宅地側と比べて狭くなっている。詳細な幅の設定や安全対策については、今後検討していきたい。
- 地形的に難しい検討であることは承知したが、利用する観点から言うとスロープによる迂回が現在に比べ140mと非常に長く、利用者の負担がかなり大きくなってしまふ。半地下はダメだと言っているが、どこまでなら出来るのか、それによりどれだけ利用者の負担が減るかといったことも十分に検討してもらいたい。
- 半地下案については、検討を行っているので、資料に組み込むかどうか検討させていただく。自転車交通については、歩道橋を利用すると確かに大きな迂回となってしまうが、大間野南荻島線の交差点を渡っていただくことも可能なため、双方の利用により、交通が分散されるものと考えている。
- 新しく出来る橋の周辺の河川遊歩道について、スロープで河川敷に降り、橋の下をくぐれるようにすることで導線が連続するようになってほしい。そこで反対側にくぐれるなら、荻島地区の一部の方々は、そこを利用して北越谷地区にアクセスすることも考えられる。また、出津橋付近の押しボタン式信号も不要になるのではないかと考えている。
- 河川管理者と協議をしながら、歩行者導線の連続性を確保できるように努めていく。

<オープンハウス型説明会の開催予定について>

- オープンハウス型説明会について、いらっしゃった方々が担当者と話せない場合（順番待ちや話しかけづらい）も想定されるため、意見書や要望書のようなものを書いてもらうスペースを用意したほうがより多くの意見を集められるのではないかと。
- ホームページのみを確認いただく方も、数多くいらっしゃると思うので、そういった方も含めて意見を集めるために、意見を記載いただく用紙を作成させていただき、ホームページに掲載するとともに、会場にも設置するようにしたい。

－ 以上 －